

Title	編集後記 (泌尿器科紀要 第13巻第12号)・購読要項・投稿内規
Author(s)	
Citation	泌尿器科紀要 (1967), 13(12): 934-934
Issue Date	1967-12
URL	http://hdl.handle.net/2433/113233
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

編 集 後 記

12月5日大阪大学医学部名誉教授谷村忠保先生の教室葬が皮膚科、泌尿器科合同で行なわれた。既に先月御逝去になったが遅ればせながら本号でお知らせする次第である。先生は大阪大皮膚科の重鎮で泌尿器科専攻の佐谷教授が亡き跡をつがれ、楠教授が就任されるまでの間泌尿器科を兼任されて斯界に貢献され、皮膚科方面では Sarcoid の研究で世界的に有名な方である。謹んで御逝去を悼み御冥福の程を祈る。

次に本紙も追い追い隆昌をきたし、国内では83カ所の大学、研究所と交換雑誌形式をとり、国外では欧米の知名学者はもとより、Nephron, British Journal of Urology, Klinische Wochenschrift, Urologia 等8カ所と雑誌の交換を行なっている。ついでには論文の欧米抄録は余り簡略にならぬよう、図表の説明は成るべく欧文にてお願いしたい。

本号の随想には早石教授のプロスタグランディンに関する論文を戴いた。御一読願います。

購 読 要 項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,500円を前納する。1冊料金 150円。払込みは振替口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投 稿 内 規

1. 原稿の種類は総説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は会員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 年次。
例. 1) 中野: 泌尿紀要, 1: 110, 昭30. 2) Lazarus, J. A.: J. Urol., 45: 527, 1941.
5. 欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳する。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料の著者負担は4頁迄毎頁600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行なう。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。

泌尿器科紀要 第13巻 第12号 定価150円

昭和42年12月25日 印刷

昭和42年12月31日 発行

顧 問 稲 田 務

編集発行人 加 藤 篤 二

発 行 所 泌尿器科紀要編集部

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部泌尿器科学教室内

電 話 ㊦ 8111 学 内 5806

印 刷 所 山代印刷株式会社

京都市上京区寺之内通小川西入